

令和 4 年度

富山県多面的機能支払推進研修会

研 修 会 資 料



富山県多面的機能推進協議会

目 次

次第・日程	1
会場のご案内	2
ブース展示会場のご案内	3
ブース展示 企業・団体一覧	4
■研修会資料	
多面的機能団体と農村RMOについて	5
「種もみの郷 下村」	
～自分たちのむらは自分たちで守り、未来へつなげる～	27
富山県の多面的機能支払の取組状況について	39
■ブース展示（企業・団体）の技術紹介	46
東北興商（株）	47
（株）ガイメック	48
（株）堀江商会	49
大一工業（株）	50
桜井（株）	51
全国共済農業協同組合連合会 富山県本部	52
中部美化企業（株）津島事業所	53
一般社団法人農山漁村文化協会 東海北陸近畿支部	54
（株）アッシュ	55
アムレット（株）	56
（株）白崎コーポレーション	57
大塚工業（株）	58
三進金属工業（株）	59
（株）高岡ケージ工業	60
前田工繊（株）	61
富山県コンクリート製品協会	62
■添付資料	63
多面的機能支払交付金 活動における安全確認チェックリスト	64
草刈り作業の安全点検チェックリスト	65

令和4年度 富山県多面的機能支払推進研修会

<日程表>

開催日：令和4年10月20日（木）

場 所：富山産業展示館（テクノホール） 西館 大展示場

○研修会（ホールA）

時 間	内 容	講 師
12:00 ～ 13:00	受 付	—
13:00 ～ 13:10	開会あいさつ	—
13:10 ～ 14:10	講演① ・多面的機能団体と農村RMOIについて	富山大学 名誉教授 酒井 富夫 氏
14:10 ～ 14:40	休憩	—
14:40 ～ 15:00	講演② ・事例紹介 「種もみの郷 下村」 ～自分たちのむらは自分たちで 守り、未来へつなげる～	かんきょう下村保全会（砺波市）
15:00 ～ 15:20	講義 ・富山県の多面的機能支払の取組 状況について	富山県多面的機能推進協議会 （富山県農林水産部農村振興課） 柴田 祐紀
15:20	閉会	

○パネル・ブース展示（ホールB）

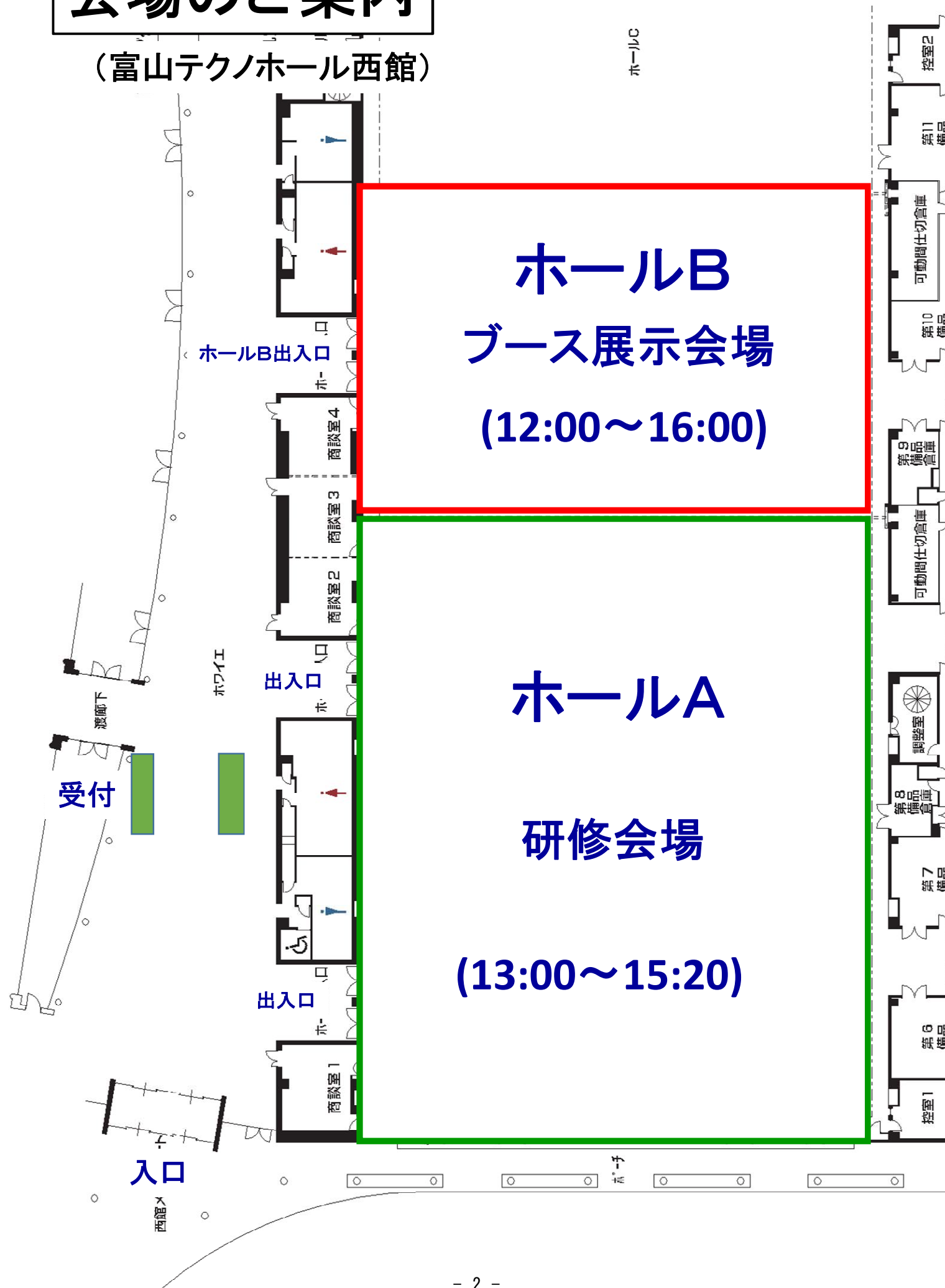
時 間	内 容
12:00 ～ 16:00	・活動に必要な資材等のブース展示 （防草シート、安全施設、水路の補修材等の各種メーカーによる展示） ・県内の広報事例のパネル展示

○新型コロナウイルス感染症の感染防止について

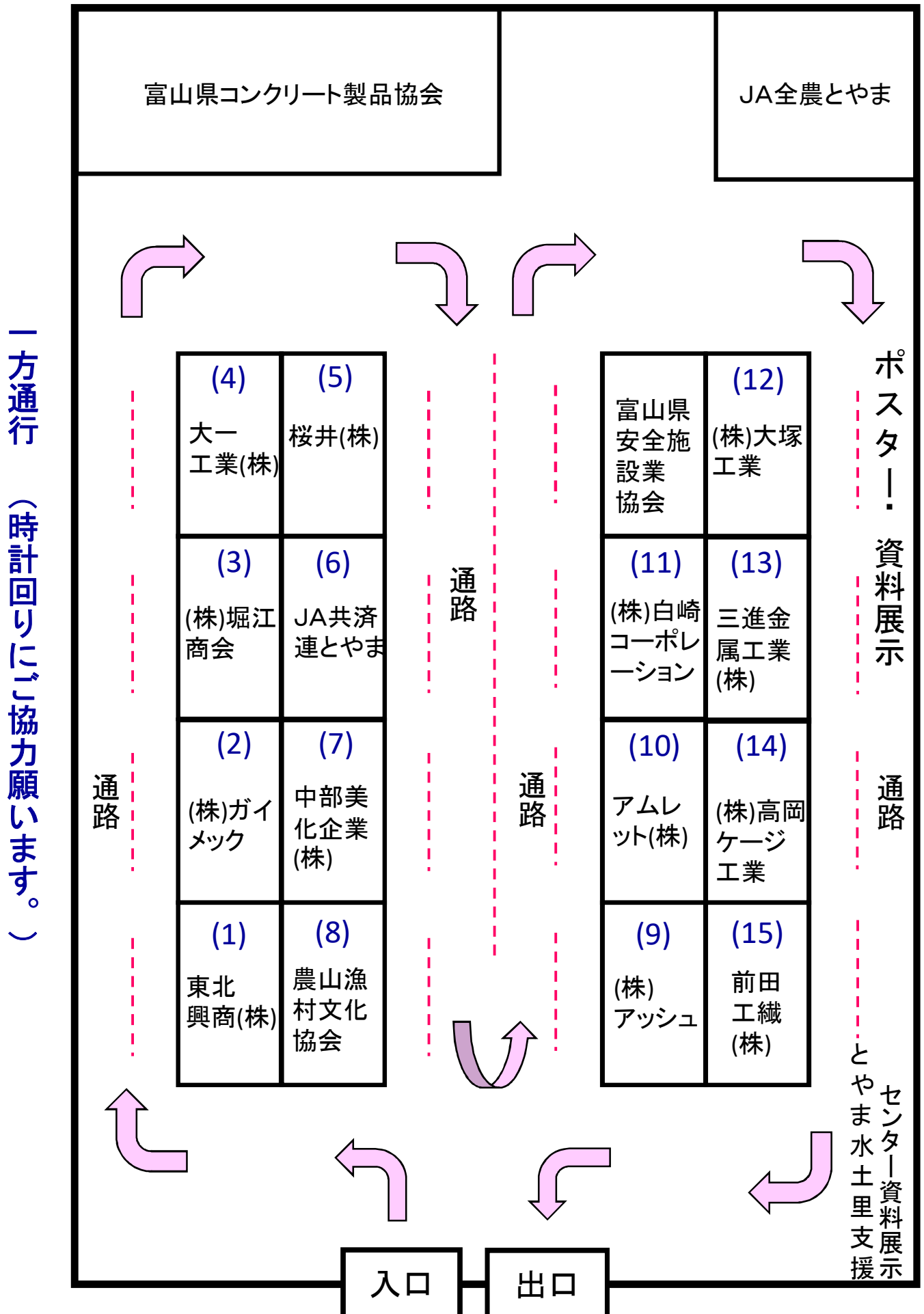
研修会場では、必ずマスクの着用をお願い致します。
 マスクを外しての会話は、ご遠慮願います。
 会場内で密集・密接な状況とならないよう、ソーシャルディスタンスの確保に皆様のご協力をお願い致します。
 咳やくしゃみの際は、必ずマスクやハンカチ、ティッシュ等で口元を覆うなど、咳エチケットを守ってください。また、使用したマスク等は持ち帰りをお願い致します。
 会場の換気設備を稼働させておりますが、会場の状況に応じて扉を開放して換気を行いますので、ご協力をお願いします。

会場のご案内

(富山テクノホール西館)



ブース展示会場のご案内（ホールB）



令和4年度 多面的機能支払交付金研修会 ブース展示企業・団体一覧

出展者	住所	連絡先TEL	展示内容
東北興商 株式会社	宮城県仙台市若林区六丁の目中町27-27	022-288-1617	【田んぼダム】 ・軽量落水柵 ・コンクリート柵用ロート型堰板
株式会社 ガイメック	下新川郡入善町青島884番地	0765-72-3718	施工方法(目地補修工法・表面被覆工法・表面含浸工法) ・水路補修資材、施工完了時のサンプル ・震災報告(新潟県中越沖地震)写真集
株式会社 堀江商会	富山市婦中町外輪野1430番1	076-403-6771	・水路・ため池転落対策製品 ・安全・保安土木作業製品 ・水路水深確認製品
大一工業株式会社	奈良県生駒郡斑鳩町幸前2-8-24	0745-75-2645	雑草抑制おまかせネット・傘型ストッパー
桜井株式会社	愛知県名古屋市熱田区桜田町15-29	052-872-0651	「多面的機能支払交付金」報告書作成・事務支援ソフトウェア STAFireReportIVのご紹介
全国共済農業協同組合連合会 富山県本部	富山市新総曲輪2番21号 富山県農協会館6F	076-445-2404	多面的機能支払交付金活動向けの保障プランのご案内(活動中のケガや賠償事故の保障)
中部美化企業株式会社 津島事業所	愛知県津島市莪原町西屋敷154	0567-28-6866	水路目地補修用シート、その他水門等
一般社団法人 農山漁村文化協会 東海北陸近畿支部	愛知県名古屋市緑区漆山314	052-746-2061	多面的機能支払関連の本の展示
株式会社 アッシュ	富山市黒瀬188	076-491-6325	・農林水産省農業水利施設の補修・補強工事に関する補修材料適合品のご紹介 ・新技術「左官アシスト工法」のご紹介 農林水産省官民連携新技術研究開発事業に採用(自動機械によるモルタル吹付・均し工法)
アムレット株式会社	富山市手屋3丁目5番11号	080-2956-1517	多面的機能支払交付金事務支援システム「田園クラブ」
株式会社 白崎コーポレーション	福井県鯖江市石生谷町11-23	0778-62-2200	・防草シートの展示(現物展示、施工事例紹介、施工方法の説明など) ・水路補修資材の展示(現物展示、施工事例紹介、施工方法の説明など)
株式会社 大塚工業	富山市石田2番地4	076-429-0755	・目地漏水対策工法(メジカラ・メジモル工法) ・水路転落防止対策商品(メッシュのふた・木利のふたシリーズ)
三進金属工業株式会社	石川県金沢市疋田3-110	0766-253-1007	水路用安全ネットカバー「エコプロガード」
株式会社 高岡ケージ工業	高岡市内島47番地	076-31-1007	2タイプのスチールメッシュ製、農業用水路転落防止カバー。 ・山形ネット形状で必要強度を維持しつつ軽量化したタイプ ・左右の壁高が異なる用水路の使用できるタイプ
前田工織株式会社	石川県河北郡津幡町字庄ト60	076-288-6077	水路の「維持修繕」・「安全対策」・「美観対策」に関わる工法
全国農業協同組合連合会 富山県本部	富山市新総曲輪2番21号	076-445-2234	農用地の草刈り等の実践活動の展示
富山県コンクリート製品協会	富山市婦中町下邑字添山27-1	076-469-0130	ベンチフリューム、柵等のコンクリート二次製品の紹介
一般社団法人 富山県安全施設業協会	富山市内幸町6番1号辻ビル5階	076-471-6150	転落防止柵、その他の安全施設

多面的機能団体と農村RMOについて

富山大学 名誉教授 酒 井 富 夫 氏



多面的機能団体と農村RMO

富山大学名誉教授

酒井富夫

tsakai0423@xb3.so-net.ne.jp

2022年10月20日(木)



今日の内容

◎多面的機能政策の農政上の重要性を確認し、富山県における多面的機能団体の特徴を整理する。そこでは、多様な工夫と多くのご苦労がなされていることを確認できる。それらを前提に、今後は、多面的機能団体の話し合いの場を起点とした農村活性化のための組織、農村型地域運営組織(農村RMO)へとさらにグレードアップできないでしょうか？

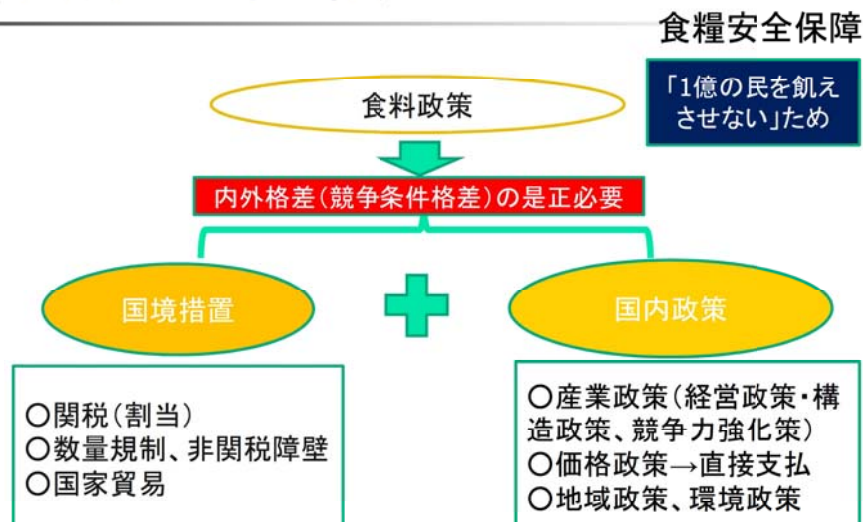
【目次】

1. 産業政策と地域政策のバランス
2. 富山県における多面的機能団体
3. 地域運営組織RMOの特徴
4. 富山県におけるRMO

おわりにーRMOによる地域活性化に向けた課題ー

1. 産業政策と地域政策のバランス

(1) 農業政策の基本的枠組み



3

(2) 日本の農政改革の特徴

旧基本法以来の効率的農業優先

○日本では、1992年新政策(「新しい食料・農業・農村政策の方向」農水省)のなかで、効率的農業(効率的安定的な農業経営体の育成)とともに、持続的な農業の方向を示しました(転換でなく併存的位置づけ)。

◎しかし、2000年代に入り日本の経済政策は新自由主義的性格を強め(2010年代アベノミクス成長戦略はその典型)、農業政策は、効率的農業づくり(農地集積・大規模経営づくり)を第一優先にしてきました。

○農村や環境に配慮した政策は、中山間地域等直接支払制度や持続農業法・有機農業推進法が創設されましたが、効果がみえるにはまだまだ不十分でした。

4

(3) 農政転換と直接支払い制度

農政転換：単輪農政から両輪農政へ

○2005基本計画：選択と集中を目指すも選別政策批判で頓挫。2010基本計画：戸別所得補償を導入するも現状固定・財源不足で頓挫→これらの反省の上に2015基本計画

○しかしその後(2010s後半)も産業政策偏重の政策続く。→2020基本計画では「車の両輪政策」(**産業政策と地域政策のバランス**)を継続・深化

➤ 従来路線＝農業の成長産業化、生産性至上主義の農地集中、大規模経営、プロ農業者育成路線偏りからの転換

➤ 持続性も重視。

①地域政策重視。多様な担い手(半農半Xなど)育成。生産基盤の維持。

②環境重視。生物多様性、脱炭素重視の農法、有機農業推進。

※参考資料『両輪農政』本格化に道」日本農業新聞論説2021.6.28

5

新農村政策の意義

「両輪農政」本格化に道

農水省の有識者検討会が、新たな農村政策の提言をまとめた。仕事づくりと併せ、多様な人材を養成・確保し、農業の持続的な発展を図る政策の方向を定めた。政府は、農業・農村現場の声を踏まえ、具

体化し、産業政策と地域政策を「車の両輪」とした農政刷新を本格化させるべきだ。提言は、二つの検討会の間取りまとめること同意が公表した。政府が昨年、閣議決定した食料・農業・農村基本計画の具体化の一環で、農村での所得と雇用機会の確保

②人が住み続ける条件整備③新たな動きや活力の創出――を、総合的に推進する政策の方向を検討。新型コロナウイルス下の「田園回帰」の流れを加速し、「低密度社会」を実現することも見据えた。提言の柱の一つが、仕事づくりと併せ、多様な人材を養成・確保し、農業の持続的な発展を図る政策の方向を定めた。政府は、農業・農村現場の声を踏まえ、具

④「両輪農政」本格化に道。農水省の有識者検討会が、新たな農村政策の提言をまとめた。仕事づくりと併せ、多様な人材を養成・確保し、農業の持続的な発展を図る政策の方向を定めた。政府は、農業・農村現場の声を踏まえ、具

い、挑む人の裾野を広げる。これにつながる。生産現場からも「幅広い人」を育てる。これに、将来的な担い手確保につながる(北海道の農家)との声が聞かれる。政府には、「多様な担い手」を育成・確保するの観点から、農政全般を検証し、見直しを求める。

「農村は、農業の持続的な発展の基盤(基本計画)であり、産業政策と地域政策を別々に展開しても十分な政策効果は得られないだろう。今回の提言は、農村の仕事づくりを農業振興と結び付け、政策方向を示した。「両輪農政」の大きな一歩である。

日本の直接支払い制度

A[所得補てん]

「**経営所得安定対策**＜ゲタ・ナラシ、転作助成＞」(自民党政権)←「**農業者戸別所得補償制度**」(民主党政権)

B[農村・環境支払い]

「**日本型直接支払制度**」←「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」公布2014、施行2015←「農林水産業・地域の活力創造プラン」2013

＜条件不利地域＞中山間地域等直接支払

＜地域資源管理＞多面的機能支払(農地維持支払・資源向上支払)

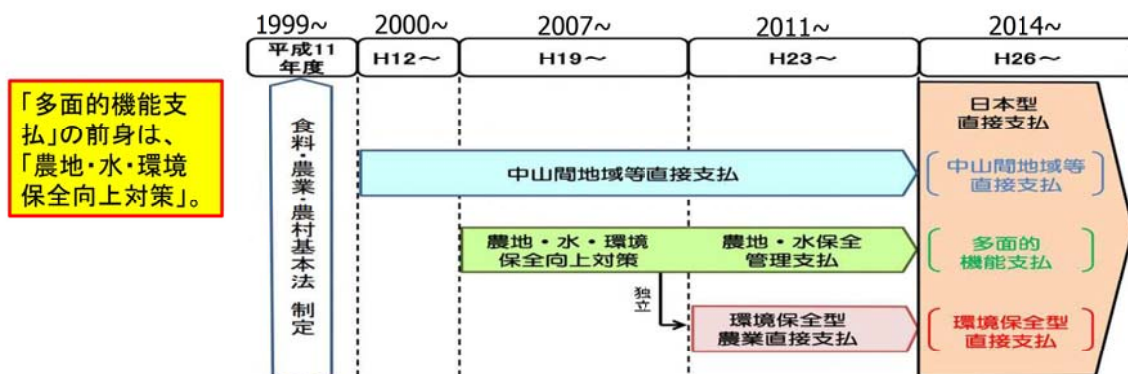
＜環境保全＞環境保全型農業直接支援

◎農政は、2010年代後半以降、92年新政策の視点に戻り、地域や環境を重視した両輪農政・持続的農業が本格的に追求され始めました。政策手法としては、直接支払い方式、その効果的な仕組み方に期待されます。

7

多面的機能支払制度とは

○多面的機能支払＝農地、農業用水等の保全・管理のための地域の共同活動により行われる取組に対する支払。多面的機能支払交付金2014～。



資料)農林水産省「日本型直接支払について」平成28(2016)年5月
https://www.pref.yamanashi.jp/noson-sink/documents/28_nihon.pdfより引用。

8

2. 富山県における多面的機能団体

これまでの優良活動表彰 受賞組織一覧(多面のみ抜粋)

番号	組織名	市町村名	実施事業
第11回 平成29年7月31日表彰			
1	坪野の里を守る会	魚津市	多面的機能支払制度 中山間地域等直接支払制度
2	婦中環境広域協定運営委員会	富山市	多面的機能支払制度
3	竹鼻環境保全会	舟橋村	多面的機能支払制度
4	浄土寺農村環境保全協議会	射水市	多面的機能支払制度
5	長楽寺環境保全委員会	南砺市	多面的機能支払制度
第12回 平成30年7月17日表彰			
1	島環境保全委員会	入善町	多面的機能支払制度
2	吉岡地区活動組織	富山市	多面的機能支払制度
3	反保島集落環境保全推進協議会	高岡市	多面的機能支払制度
4	五郎丸集落資源保全隊	小矢部市	多面的機能支払制度
第13回 令和元年7月30日表彰			
3	水橋常願寺地域活動組織	富山市	多面的機能支払制度
4	大沢野広域活動組織	富山市	多面的機能支払制度
5	黒河地区環境保全会	射水市	多面的機能支払制度
6	東中地区環境保全推進委員会	砺波市	多面的機能支払制度
第14回 令和2年11月24日表彰			
1	花房環境改善活動委員会	朝日町	多面的機能支払支援制度
4	横越下環境保全会	高岡市	多面的機能支払支援制度
5	本江環境保全委員会	南砺市	多面的機能支払支援制度
第15回 令和3年11月1日表彰			
3	塚越農地・水・環境保全会	立山町	多面的機能支払支援制度
5	稲積地区みどりの会環境保全会	射水市	多面的機能支払支援制度
6	江波地区環境保全推進委員会	砺波市	多面的機能支払支援制度

9

「元気とやま」/「ワクワクとやま」むらづくり

知事賞受賞団体の共通点(第11回～第15回)

◎地域資源管理→各種共同活動へ拡張→話し合い機会の増大・深化→農業・生活面での課題共有→多面的機能団体起点の、自治会や営農主体を巻き込んだ、あるいは、連携した農村型地域運営組織(農村RMO)的活動へ発展

○地域資源管理が同時に多様な機能を発揮している:例)植栽活動→用水の重要性・危険性の周知機会

【共通点】

- ①農家、非農家が一緒になり、地域資源管理を実施している点
- ②資源管理に連動した共同活動を実施している点
- ③農村活性化活動に連携させるケースがある点

10



①農家、非農家が一緒になり、地域資源管理を実施している点

- 集落組織、広域組織あり。
- 対象となる地域資源は多様:農地・水路・ため池・遊休農地の点検、清掃、草刈り、活用[坪野][五郎島・シバザクラ][鹿熊・スイセン][水橋・カタバミ][花房・ひまわり]、水門保守、長寿命化[長楽寺][水橋][塚越]、法面小段の設置[長楽寺][五郎丸]、地域資源の紹介[北蟹谷]、水路泥上げ、美化、水路補修[島]、水路改修[吉岡]、水質モニタリング[東中]、沈砂池管理[塚越]、水路安全対策[本江]

11



②資源管理に連動した共同活動を実施している点

- 環境美化・緑化[坪野][吉岡][反保島][本江・シバザクラ][江波・スイセン]、
- 鳥獣害対策:防止柵・電気柵・蓋掛け、保守管理班、恒久柵[坪野][原野][高畠][末友]、**緩衝帯**[浄土寺]。
- 耕作放棄対策:担い手育成・農地集積[坪野][水橋]、草刈り・鑑賞作物植栽、法面共同草刈り[浄土寺・コスモス][鹿熊][稲積・そば]、竹林整備[大崎野]、山菜生産[原野]。空き家の除草・樹木剪定[東中]。
- 水質調査[東中]。生物多様性:生き物調査・食農教育[婦中][竹鼻・トミヨ]、[反保島・ホタル][五郎丸・日本タンポポ・ヒガンバナ][横越下・ホタル]。
- 交流イベント[婦中][吉岡]、混住化の中での農業理解[竹鼻]、世代間・集落間交流[大沢野][明日]。農村文化継承[東中]。
- 営農主体:話し合いの場創出・集落営農設立[黒河][大崎野]。
- 災害対策:田んぼダム[江波]

12



③農村活性化活動に連携させるケースがある点

- 共同活動を通じて農村活性化意識向上、6次産業化-[長楽寺]
- 活動の中心は集落営農法人[島]、農事組合法人・加工(かぶら寿し)・都市農村交流[細野]
- **農村RMO**の形成[北蟹谷・加工・直売所・カフェ・居酒屋]

13



今後の課題、計画より

- 地域資源管理の対象拡大と困難化
 - 耕作者少数化により田まわり機会の減少、農業用施設の不具合に気づきにくくなる。チェック、修復組織として役割大[本江]。
 - 草刈りの省力化:被覆植物等[五郎丸]、江ざらい作業の省力化[本江]
 - 空き家問題深刻化[東中]
- 活動単位・組織の見直し
 - 従来の班単位を基本とした地域活動の限界、集落機能の低下
 - 地域住民の意識醸成・参画:「自分達の地域は自分たちが守る」
 - 構成員の維持拡大[花房]、離農加速化→活動後継者の育成[島][婦中]
 - 複数組織合同:技術研修会[婦中]
 - 自治会活動との連携[吉岡][水橋]
- 防災力・減災力の強化
 - 老朽施設更新、田んぼダム

14

3. 地域運営組織RMOの特徴

全国の地域運営組織

資料)『令和3年度地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する調査研究事業報告書(概要版)』総務省、令和4年3月より引用

組織数は、ここ5年でほぼ倍増



○富山県には104組織あり、うち83%の組織が高岡市、南砺市、氷見市で占め、地域的偏りがある。

※令和3年度 総務省調査(地域運営組織対象: 6,064団体)が回答

主な活動

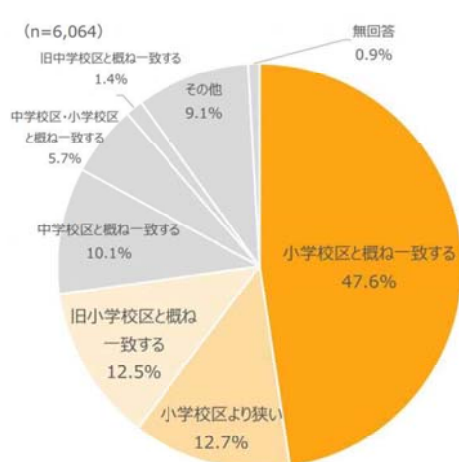


15

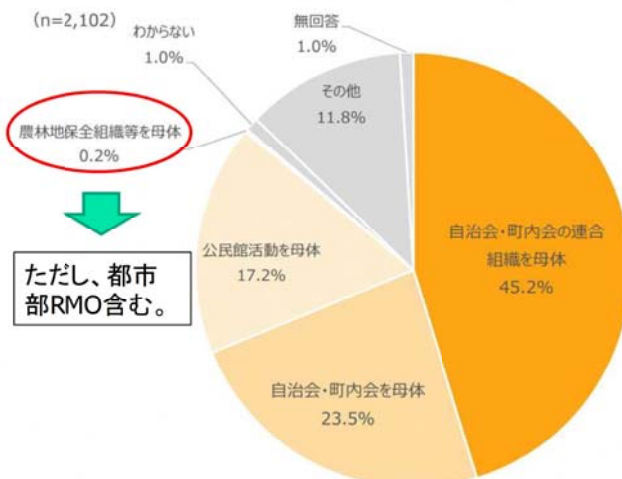
全国の地域運営組織

資料)『令和3年度地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する調査研究事業報告書(概要版)』総務省、令和4年3月より引用

活動範囲: 小学校区が多い



立ち上げ時の組織母体



16

RMOへの多方面から支援 —地域性と持続性、そして自発性—

事業名	所管府省	概要
地方創生推進交付金	内閣府	官民協働・地域間連携等の観点から先駆的な取組、既存事業の隘路を発見し打開する取組（政策間連携）、先駆的・優良事例の横展開を支援するもの。地方の先駆的な取組を支援。
地域活性化伝道師	内閣府	地域活性化に向け意欲的な取組を行おうとする地域に対して、地域興しのスペシャリスト（地域活性化伝道師）を紹介し指導・助言などを行う。
地方財政措置	総務省	地域運営組織……地域運営組織の形成や活動に要する経費への地方公共団体による支援に対して地方財政措置（普通交付税措置及び特別交付税措置） 【その他】 地域おこし協力隊……都市地域から過疎地域等に生活の拠点を移した者が、一定期間（概ね1年以上3年以下）、地場産品の開発や農林水産業への従事等の地域協力活動を行い、その地域への定住・定着を図る取組に対して、特別交付税措置。 集落支援員……集落の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材が、市町村職員と連携し、集落の巡回、状況把握等に従事する取組に対して特別交付税措置
過疎対策事業債	総務省	過疎地域の市町村が、過疎地域自立促進市町村計画に基づいて行う事業の財源として特別に発行が認められた地方債。地域医療の確保、住民に身近な生活交通の確保、集落の維持及び活性化などの住民の安全・安心な暮らしの確保を図るためのソフト事業にも活用可能。
過疎地域等集落ネットワーク形成支援事業	総務省	過疎地域等の集落を対象に、継続的な集落の維持活性化のため、基幹集落を中心として複数の集落で構成される「集落ネットワーク圏」を形成し、生活の営み（日常生活支援機能）を確保するとともに、生産の営み（地域産業）を振興する取組を支援する。
「小さな拠点」を核とした「ふるさと集落生活圏」形成推進事業	国土交通省	中山間地域等において、基幹集落に複数の生活サービスや地域活動の場を集めた「小さな拠点」を核とし、周辺集落とのアクセス手段を確保した「ふるさと集落生活圏」の形成を推進し、集落の再生・活性化を図るため、「小さな拠点」の形成に資する事業に対して支援する。
生活支援コーディネーター	厚生労働省	生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化を行う。

22

（出典）内閣府「地域の課題解決を目指す地域運営組織—その量的拡大と質的向上に向けて—最終報告」（2016年12月）

11

17

経済産業省：コミュニティ・ビジネス取組への支援。

農政におけるRMOの位置づけ

2020基本計画におけるRMOの位置づけ

- 生活サービスの維持・確保等の地域課題の解決に取り組む地域運営組織等の地域づくり団体の設立等を推進する。
- 体制の構築に当たっては、集落営農等の活動を地域づくりなどの分野に多角化していくことや、地域運営組織等の活動を農地の利用及び管理などに広げていくことに対する支援の在り方を示す。

■ 一般RMOと農村RMO

※ **一般RMO**……地域の生活や暮らしを守るため、地域に暮らす人々が中心になって形成され、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織。運営組織が自治会や町内会、福祉協議会等を母体とした組織（富山県担当課：地方創生局ワンチームとやま推進室中山間地域対策課）

※ **農村RMO**……一般RMOの一形態。RMOが、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取り組みを行うなどの場合に農村RMOと呼ぶ。中山間直接払や多面等の集落協定や農業法人等の農業者を母体とした組織（富山県担当課：農林水産部農村振興課）。

18



4. 富山県におけるRMO

- **事例(1)コミュニティビジネス化する集落営農**
ー農事組合法人末友営農組合(小矢部市北蟹谷地区)ー
- **事例(2)雄神地区(砺波市庄川)**
ー地域運営組織とコミュニティ・ビジネスー
- **事例(3)小羽地区(富山市大沢野)**
ー「小さな拠点」=旧小学校ー

21



事例(1)コミュニティビジネス化する集落営農

ー農事組合法人末友営農組合(小矢部市北蟹谷地区)ー

- 地区概要:
富山県小矢部市北蟹谷(キカンダ)地区=明治村=10集落のうちの中心的集落=末友集落。北蟹谷地域活性化協議会による支援により、CB的性格強化。
- 末友集落100戸のうち農家は75戸、うち営農組合の組合員は70戸。5戸の構成員外農家も組合に作業委託。任意組織1987年開始、1999年法人化。「一集落一農場」。山際の集落。
- 集落の農地約80haのうち約75haが組合経営面積(2012年度72.259ha)、コメ単収452kg/10a
- 事業展開:
 - 作付作目(2012年度)→野菜は契約栽培、直売(地産地消活動)
 - 加工→直売:独自商品キムチ「男キムチ」「おふくろキムチ」、糠漬け
 - 食育活動:農業体験(小学生、高校生)
 - 旧ガソリンスタンド施設を活用して、野菜直売所開設、さらに居酒屋「北の酒場」売上(金・土の夜のみの営業だが、25-30万円/月売上あり)が、協議会活動を支える。→地域づくりの拠点化
- 活動の成果:
野菜直売所売上2016年約600万円→2018年約900万円。空き家への移住者2016年5人、2018年5人=計10人(4件)。居酒屋:真っ暗な夜に灯りが灯る安心感、地域住民同士の関係深化、つながりの拠点化(協議会活動の最大の成果)。

22

地域運営組織＝北蟹谷地域活性化協議会（第11回知事賞受賞、ただし多面的機能以外で？）の設立経緯と構成

※本協議会については、北蟹谷地域活性化協議会『地域づくり自慢大会事例発表（義浦英昭氏）』2019.12.7等を参照

- 集落営農（北蟹谷集落営農協議会：末友営農組合、卯の花営農組合等が構成）による直売所開設が、地域づくりを先行。それを支援する形で「北蟹谷地域活性化協議会」を設立。
- 北蟹谷地域の人口減少と高齢化深刻：2005年1,550人（小矢部市33,533人）→2019年12月現在1,266人（小矢部市29,816人）、2019.12現在高齢化率42.1%（小矢部市35.7%）。
- 協議会：構成団体→自治振興会、公民館、地区社会福祉協議会、消防団、体育協会、長寿会、小中PTA、児童クラブ、民生児童委員、営農組合、女性の会など。実人数→約110人。
- 協議会設立の契機：国の助成「過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業」2015年度採択→野菜直売所改修（カフェ・加工室設置）、除雪機・藁打ち機購入等。

23

協議会の主な活動と成果 －6委員会による活動展開－

〔産業振興委員会協議会〕

○野菜直売所「村の駅きたかんだの郷」

〔活動の成果〕

- ①野菜直売所売上2016年約600万円→2018年約900万円。
- ②空き家への移住者の確保：空き家への移住者2016年5人、2018年5人＝計10人（4件）
- ③居酒屋「北の酒場」売上（金・土の夜のみの営業だが、25-30万円/月売上あり）が、協議会活動を支える。→真っ暗な夜に灯りが灯る安心感、地域住民同士の関係深化、つながりの拠点化（協議会活動の最大の成果）。

24

成功のポイントと課題

[ポイント]

- ①集落営農組織と地域運営組織が連携して、体制を強固なものにしたこと。
- ②自らコミュニティビジネスとしての事業展開(直売所、居酒屋等)を図り、独自の所得源を確保したこと。

[課題] (義浦(2019)『事例発表』より引用)

- ①地域の人口減、高齢化、少子化、空き家の増加、耕作放棄地の増加。この傾向に歯止めがかからない。
- ②協議会の活動資金は、「北の酒場」からの売上に依存。他の活動からの収入確保が必要。
- ③農家の高齢化＝直売所への出荷野菜の減少＝「来客は増えているのに棚に並ぶ野菜が少ない」。
- ④協議会活動の人材育成(参加住民の拡大、活動継続のための若手育成)、など。

25

事例(2) 雄神地区(砺波市庄川)

ー地域運営組織とコミュニティ・ビジネスー

。全ての組織が「雄神集会センター」に入っている。



26



経緯

2010頃:市会議員選挙を契機に、女性グループの萌芽が形成された。

2013:女性グループが雄神楽天塾を結成

2015頃:地方創生事業の助成を契機に、自治振興会で「モアハピネスおがみプラン」を策定。3PJで進めることになり(他はハード事業を採用するところが多かったが、当地区ではソフト事業を採用)、「地域コミュニティの核として、人々が集い、交流できるにぎわいの場」として、「コミュニティ・カフェ」を運営することになる。この事業は、地区の自主団体＝雄神楽天塾への委託授業とした。

2017:カフェをオープン

2018:直売所をオープン

27



仕組み

- 自治振興会:1889(M22)雄神村発足、1952合併により庄川町へ、2004合併により砺波市へ。旧雄神村、旧庄川町立雄神小学校校下?をエリアとする自治振興会。現在、257世帯、816人。庄、金剛寺、三谷の3集落(町内会)。地域の課題→「男の人のたまり場がない」、「この辺に喫茶店がない」状況から、引きこもり予防策が必要と判断した。雄神楽天塾に対しては、「失敗もそれでいい」という柔軟な姿勢で対応した。施設所有しており、雄神楽天塾から賃貸料を徴収。
- 雄神楽天塾:50～70歳代の女性16名で構成。当初の11名から増加。毎日参加の義務付けはなく、都合の良い人が出てくる体制である。会社勤めなど終わった世代であり、完全に無償ボランティアで参加している。多少の現物支給はあるが、商品開発やおしよべり等で基本的には楽しいという仕事環境がある。ただし、うち一名は、公民館の主事、及び、自治振興会の主事として、事務局を担っている(賃金は、公民館主事からの給与が中心)。この女性グループは、萌芽的には以前の市会議員選挙のつながりがキッカケになった。
 - カフェ:利用者は24～25人/日、65～90歳で男女は半々。平日10:00～12:00、13:00:00～15:00営業。コーヒー100円/杯。健康マージャン、健康カラオケ、臨床美術の施設・教室あり。住民交流の場、くろぎの場、子守の場、少人数グループ活動の場。
 - 直売所:施設の玄関内での小規模な売り場。平日のみ営業。基本的には、地区内の人たちのための小さな直売所。生産者は地区内の70～90歳代の高齢者女性15～20人。売れ残った場合、生産者に持ち帰りを義務付けるのは酷なので、買い取り方式で対応している。袋詰め、値付けも楽天塾が行い、売れ残りは干し物、漬物等に楽天塾が加工する。15%の手数料を徴収するが、これらの経費となる。購入者は20～90歳代で、若い人も来る。購入者5～10人/日。新聞紙による手提げ袋も工夫して提供。
 - (株)雄神農産:地元の人による組織、正社員4～5人+アルバイト約10人。地区の水田は100haだが、転作を除くと70～80ha。そのうち雄神農産に50～60haが集積しており、地域の農地の重要な担い手になっている。地区内に農地所有者は200戸程度存在するが、ほとんどが離農した(多少なりとも管理作業を担うのは、20～30戸程度である)。



砺波市雄神集会センター

29

自治振興会・公民館事務室とコミュニティ・カフェ



30

つながりの風景－楽しむことでつながりを深める住民
たちと、別の価値を受け取り微笑みあうスタッフ。地
域のためにというオーラが出ている。－



31

成功のポイント

1. 地域の悩みを確認し、地域振興の方向性に関する地域としての合意があった。
2. 新たにつくるのではなく、既存の活動グループを活用した。
3. 地域は、活動グループの自主的な活動に対し、弾力的な許容力を持っていた。
4. 施設や雇用、資金等で、行政が必要な部分で支えた。施設は、は地域の活動方向に沿った利用を認め、公民館雇用者を活動の核となる常時従事者として位置づけた。助成は、小さな活動に対しタイミングと規模に適応した形で提供され、地域の意欲を高めた。
5. 活動グループは、地域住民個人々の能力を受け入れ、地域住民が楽しめる＝会話が弾む＝身近に交流できるサービスを提供した。
6. 活動グループの参加は自主的な無償ボランティアであることが事業を存続させており、代わりに自らも提供するサービスのなか等で楽しむという価値を得ている。
7. 一方で小さな直売所があり、他方で農業・農地はまったく別の仕組みで処理している。地域全体としては多様な担い手を育てていることになるが、直売所は高齢女性性の担い手を育てている。

32

事例（３）小羽地区（富山市大沢野）

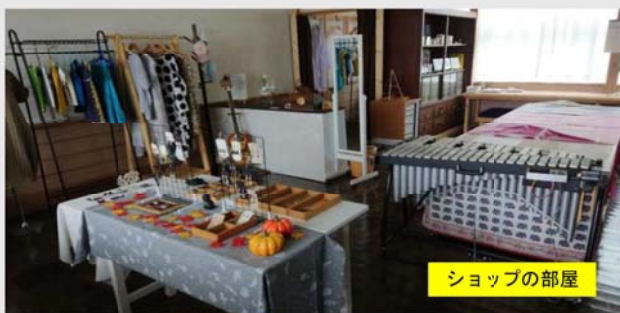
－「小さな拠点」＝旧小学校－



旧小羽小学校



33



ショップの部屋

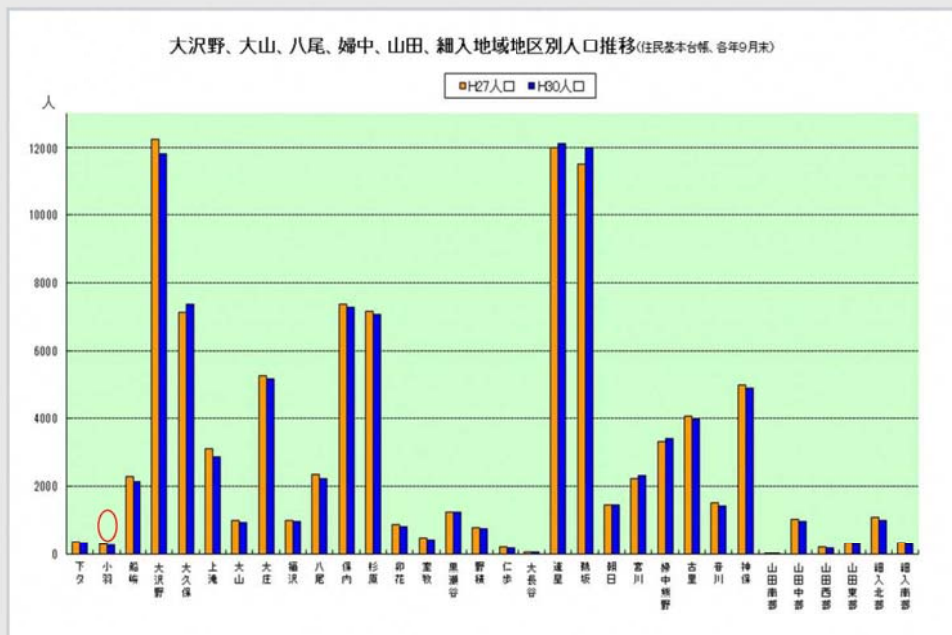


合気道教室



里山食堂
のぼり

34



小羽地区(2019.2末現在)
人口260人
うち～14歳25人
65歳～107人

35

経緯

—歴史ある小学校への強い思い：教育制度と自治制度の変遷—

- (1872(明治5) **学制**発布・近代学校教育制度・日本の近代化の基本的手段)、1874(明治7)黒瀬谷村立?土村小学校創立、1875(明治8)黒瀬谷村立?須原小学校創立、(1879(明治12) **教育令**公布、1886(明治19) **学校令**・「旧制」、1888(明治21)市制・町村制公布=地方自治制度の確立、**「明治の大合併」**：町村規模=小学校区域300～500戸、1889(明治22)土村・小羽村・須原村等18村合併し黒瀬谷村発足)、1890(明治23)小羽小学校に改称。
- (1947(昭和22) **学校教育法**・「新制」「教育の民主化」、1952(昭和27)富山県町村合併促進、1953(昭和28)町村合併法、**「昭和の大合併」**：町規模=中学校区域8,000人以上、黒瀬谷村の一部編入)、昭和1953(昭和28)大沢野町立小羽小学校。
- 1995(平成7)合併特例債・地方交付税改革、**「平成の大合併」**：旧富山市等と新設合併し富山市へ、2009(平成21)富山市立小羽小学校閉校

36

仕組み：「NPO法人こば」による運営

- 地方自治体（校舎の所有）→（校舎貸付）→小羽地区自治振興会→（校舎の管理委託）→NPO法人こば→NPO会員による利用。木造校舎は、市内で唯一残る。
- **NPO法人こば**：2010設立。正会員41名、賛助会員18名、団体会員8団体（2019年3月末現在）。「地域コミュニティの核として存在していた木造校舎を残し、そこを拠点として住民が主体となって地域活性化に取り組む」ために設立。トップダウンによる方針からの事業展開ではなく、「この指止まれ方式」による利用＝事業展開。NPO法人の収支はほぼトントン。
- 活動内容：
 1. 里山保全など地域環境の整備：里山での自然体験・農業体験イベント
 2. 子育て支援・教育活動：子育てサークル（2回／月）、木工教室、子ども祭り、ドローン教室、そば打ち教室、合気道教室
 3. 地域住民の交流の場：里山カフェ（2回／週）、健康マージャン（認知症予防・引きこもり対策、地域介護予防の一端、2回／週）、ライブコンサート
 4. 地域農業を応援する里山食堂（1回／月）：棚田・里山の風景保全→地元産農産物の活用、小羽特産手打ちそば、農村支援ボランティア活動の拠点。
- 効果：①若年人口（0～14歳）の割合増・微増、②交流人口の大幅増

37

成功のポイントと課題

【ポイント】

1. 小学校校舎存続をめぐる、地域内には賛成派と反対派あったが、存続派が富山市と交渉してNPOを立ち上げて、自治振興会からの委託管理を合意した。10年間活動して地域内でも認知されるようになり、小羽地区ふるさとづくり推進協議会にも正式に団体として参加している。コミュニティビジネスを動かすには、地域合意を前提にすることに拘らず、別働隊があるとやりやすい。
2. 新規参入者の目、力を活かせるかがカギ。中山間地は、新規参入者のニーズに適合しており、人口的にも一段と厳しい条件があり受け入れる姿勢がつけられやすいところが強みである。
3. 運営
 - ①理念：カネ儲けのためでなく、地域を元気にする。コミュニティビジネスの原点を忘れないこと。
 - ②上からの方針でなく、自発・自転的なPJ方式で活動してもらう。「小さな芽」から。そのための場・環境を提供。地域全体との調整にエネルギーは割かない。
 - ③小さなPJ×多数でよい（なかには成功するPJが出てくる）。里山保全・棚田保全のためには、「兼業農家の復活」しかない。ローカルエコノミー的・半農半X的発想。
 - ④SDGs（誰一人取り残さない）姿勢が重要。男性高齢者の参加に成功（健康マージャン）

【課題】 1. 校舎維持のための行政との調整。行政コスト問題。

38



三つの事例まとめ

- 地域運営組織は、地域の人を中心になって、生活や暮らしに関する地域の課題を互いに認識し合い、そのための方策を協議し、活動を実践していく組織。
- まずは、**地域の自己点検、みんなで「むらの10年カレンダー」づくり**。
- 組織のあり方は・範囲は、自分たちに合った形でよく、拠点となる施設・場所も一番都合のよいところがいい。
- しかし、協議機能と実践機能は必要だが、それは状況に応じて別々につくってもよい。
- 要は、そこで住み続けられる状況をつくれるか。

39

事例からのヒント

- エリア的には、小学校区が、互いに顔が見える範囲としてつくりやすい。
- 分離型でこそ、成功した事例がある（北蟹谷地区の中心的集落の集落営農、雄神地区の女性グループ楽天塾、小羽地区の新規定住者を交えた有志によるNPO法人）。
- 人材不足なら、関係人口や新規定住者を受け入れる環境をつくること（「旅の人」思考からの脱却）。
- 地域のすべての人が集まれる楽しい場をつくること（カフェ、居酒屋、健康マージャンなど）。
- 行政の支えは大きい（資金的助成、施設利用など）。

40

人材面・資金面等の地方自治体によるRMO支援例

地方自治体	支援概要
高知県	○財政支援 ➢ 集落活動センターの立ち上げや新たな事業展開に必要な経費として、市町村や集落組織等を対象に資金支援を実施。 ○人的支援 ➢ 集落活動センターの立ち上げや運営等について、総合的に助言を行う県のアドバイザー等を地域に派遣。 ➢ 県と地域をつなぐパイプ役を担う県職員を全市町村に常駐で配置し、現場で地域活性化の取り組みを支援。 ➢ 市町村に常駐で県職員を配置することで、地域を知る県職員を育成し県政を効果的に推進。 ○制度支援 ➢ 高知県中山間総合対策本部(本部長:知事)を立ち上げ、全県的に中山間対策に取り組む体制を構築するとともに、中山間対策を担当する中山間地域対策課を設置。 ➢ 市町村別支援チームを編成し、市町村と共に全庁を挙げて、集落活動センターの円滑な立ち上げや活動の充実・強化などの支援を展開。
長野県飯田市	○制度支援 ➢ 自治基本条例を平成 19 年に制定。市民には、まちづくりの主体としてまちづくりに参加する権利と、市と協働して地域社会の発展に努める役割を位置づける。 ➢ 縦割りであった自治会を横断的な住民組織として再編。トップダウン型からボトムアップ型へ転換。 ○財政支援 ➢ 縦割りであった補助金の廃止。 ➢ 『パワーアップ地域交付金』を創設。交付金額は1億円(毎年度)。共同及び共益的な事業、住民の総意による地域づくり事業、まちづくり委員会の運営費用のために活用される。 ○人的支援 ➢ 旧町村単位に自治振興センターと公民館を併設。中心部地区に自治振興センター(共同事務所)と公民館を配置。地域に足の着いた政策立案のできる職員を育てる。
島根県雲南市	○財政支援 ➢ 地域住民で地域課題に取り組むための一括交付金による財政支援。 ○人的支援 ➢ 地域づくり担当職員を配置し、人的支援を実施。

24

(出典)内閣官房「地域の課題解決を目指す地域運営組織—その量的拡大と質的向上に向けて—最終報告」(2016年12月)

41

おわりに

—RMOによる地域活性化に向けた課題—

- 地域活性化にとってGMO地域運営組織が要となるが、地元でそれをつくる力が残っているか？まず、話し合う場が必要だが、その「場」自身が無くなってきており、制度的な結びつきも希薄である。

＜他制度をステップとして利用できないか＞しかし、現状は……。

- 生産組合:生産組合活動は集落営農が担うことはあるが、それ以外の地域ではかつての「生産組合」は無くなった。農協と集落の関係性が、希薄になったことを意味する。班活動も限界。
- 人・農地プラン:農地利用計画化の原点・人と農地の計画的接合による計画化→実際に「話し合い」はどこまで行われているか？
- 集落協定(集落戦略)、集落機能強化加算:中山間直払いの助成10割単価の要件(2020~)→助成獲得が目的で、話し合いによって締結されている協定は少ない？

◎その点、**多面的機能団体**は農村の共同活動があり、非農家とも地域全体の話し合う場を実質的に持っており、農村RMOになりうる可能性が高いといえないか？⁴²

「種もみの郷 下村」

～自分たちのむらは自分たちで守り、未来へつなげる～

かんきょう下村保全会（砺波市）

種もみの郷 下村

～ 自分たちのむらは自分たちで守り、未来へつなげる ～



かんきょう下村保全会（富山県砺波市）

1

1 地域の沿革と概要



砺波平野 散居村



2

1 地域の沿革と概要

日本一の種もみ生産地



朝夕の露切り風
粒が大きい

豊かな水



庄川合口堰堤（1939年完成）
平成16(2004)年7月23日指定
登録有形文化財

3

2 むらづくりの動機、背景

合意形成の過程とその内容

それまで個々に活動
→全体でより計画的に効率よく



定期総会

毎年4月に
一年間の活動内容を策定



常任委員会

4

2 むらづくりの動機、背景

農業用施設に関する取組み（その1）

品質の高い種もみを
生産するため



センチピードグラス張付前の法面整形



草刈りの省力化
→労力をほかへ回せる

センチピードグラスのシート張付

5

2 むらづくりの動機、背景

農業用施設に関する取組み（その2）

漏水対策
→種もみの品質向上へ



目地詰めによる用排水路補修

危険箇所リストのとりまとめ



用水路危険箇所に関するワークショップ

6

2 むらづくりの動機、背景

景観に関する取組み（その１）



花壇への花の植栽



親子で花壇の看板製作

7

2 むらづくりの動機、背景

景観に関する取組み（その２）



ちびっこ農園へのサツマイモの植栽



環境保全看板の設置

8

2 むらづくりの動機、背景

啓発・普及に関する取組み



広報誌「かんきょう下村」
発刊（年3回）



屋号マップ



用水路危険箇所マップ

9

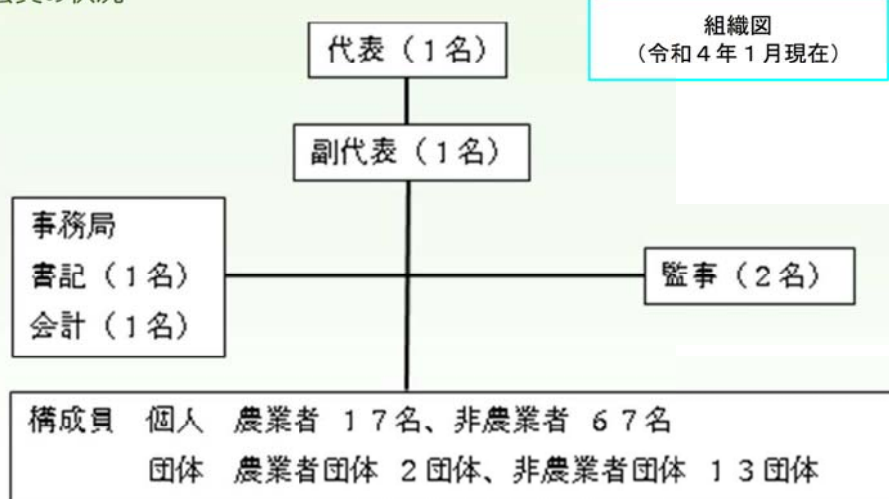
3 むらづくりの推進体制

当該集団等の組織体制、会員の状況

かんきょう下村保全会

設立年
平成19年

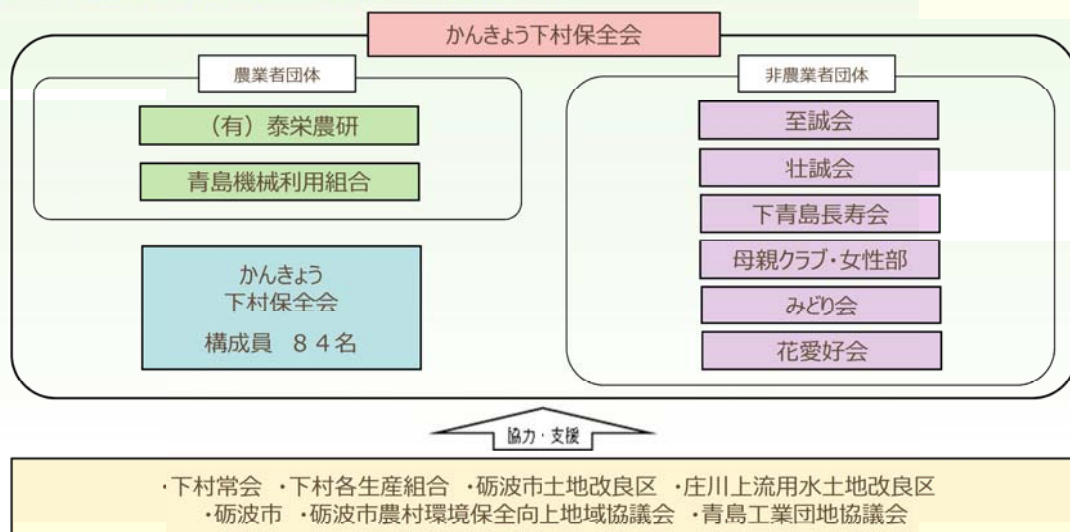
構成員
集落内の農業者及び
非農業者
個人84名
15団体



10

3 むらづくりの推進体制

当該集団等と連携する他の組織、団体及び行政との関係



11

4 むらづくりの農業生産面への寄与状況

農業生産、流通面への取組み状況



青島機械利用組合での水稻播種作業

12

4 むらづくりの農業生産面への寄与状況

生産力の向上、生産の組織化、生産・流通基盤の整備等（その1）



経営規模を拡大

ハウスでの育苗の様子



品種や天候に合わせた栽培管理

実った種もみの稲穂置

13

4 むらづくりの農業生産面への寄与状況

生産力の向上、生産の組織化、生産・流通基盤の整備等（その2）



ひとつ風呂浴びて、おいしくなりました。



独自ブランド「庄川おんせん野菜」

14

4 むらづくりの農業生産面への寄与状況

生産力の向上、生産の組織化、生産・流通基盤の整備等（その3）



かぶら寿司



庄川おんせん野菜カレー



道の駅での販売

15

4 むらづくりの農業生産面への寄与状況

生産力の向上、生産の組織化、生産・流通基盤の整備等（その4）



基盤整備前



基盤整備後

16

4 むらづくりの農業生産面への寄与状況

後継者の育成確保、女性の経営参画の促進状況（その1）



庄川小学校とのとうもろこし収穫体験

17

4 むらづくりの農業生産面への寄与状況

後継者の育成確保、女性の経営参画の促進状況（その2）



農業への女性参画

18

5 むらづくりの生活・環境整備面への寄与状況

生活条件の改善・整備、コミュニティ活動の強化、都市住民との交流等



現地視察
受け入れ



春と秋の
獅子舞奉納

左義長



庄川観光祭
夜高行燈
練りまわし



19

5 むらづくりの生活・環境整備面への寄与状況

活動による地域への定住促進、女性の社会参画の促進状況等



ハイ、チーズ！

女性や子供たちの積極的な参加



こつちも、記念写真だ

ちびっこ農園の参加者

20

地域住民が一体となり農村環境に関心を持ち、
伝統と魅力ある地域の保全活動を次世代に引き継ごう



5月 田祭り



6月 田祭り



8月 納涼祭



10月 ソフトボール観戦